

Spring/Summer 2024

BEAUTY CREATORS INSPIRE



NEO ROMANTIC

Spring/Summer 2024

BEAUTY CREATORS INSPIRE



NEO ROMANTIC

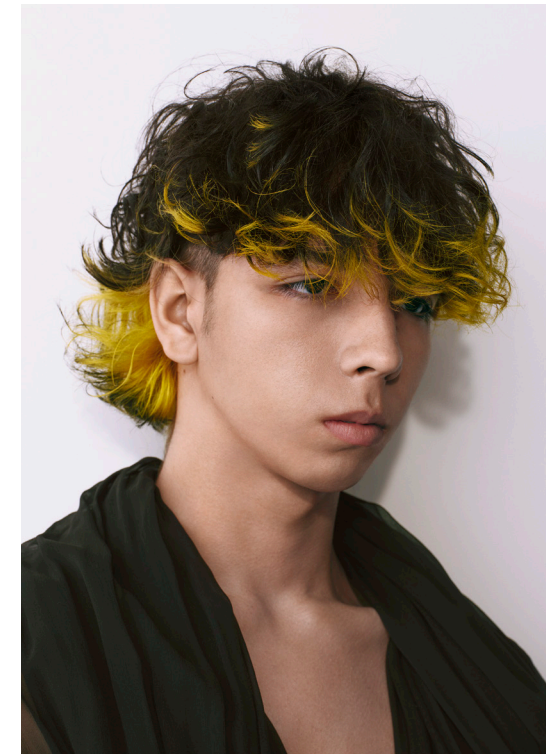
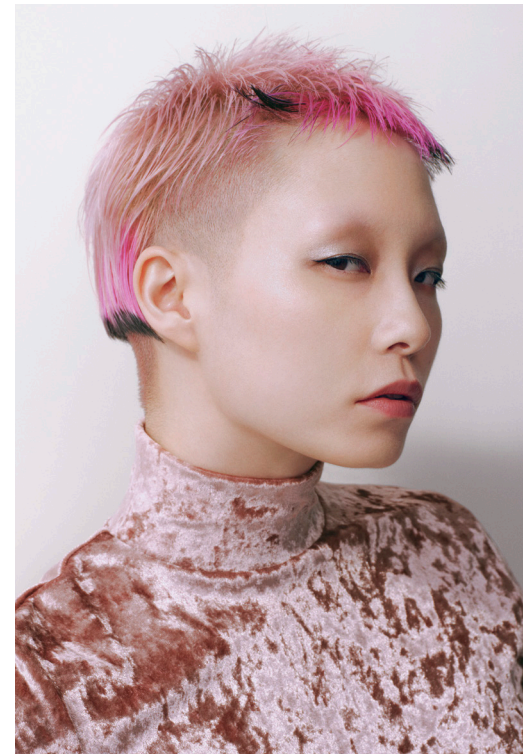
Spring/Summer 2024

BEAUTY CREATORS INSPIRE NEO ROMANTIC

爽やかさと軽やかさ、しなやかさと優しさに包まれながら
開放的な季節に誘われて。

2024年春夏シーズンは、ミニマルな美しさに気品が加わり
洗練かつエフォートレスなスタイルへと進化。
繊細な生地と手の込んだ装飾が施された真っさらなキャンバスは
五感を魅了し、想像力を刺激する。

クリーンで軽やか、ミニマルで機能的、鮮やかでエフォートレス。
新たな始まりの季節の到来だ。





BOLD PINK PIXIE

ベリーショートをピンクの濃淡で染めて

長さ＆カラーの絶妙なバランスでクール＆フェミニンに

刈り上げたサイド、ネーブと長さを残したバック、濃淡のピンクトーンにポイントで入れた黒の毛先。カラーチョイスと長さの残し方次第で、ベリーショートはこんなにもロマンティックに。フォルムに変化をつけることでクールになりすぎず、黒をわずかに入れることでピンクの甘さを抑え、フェミニンなベリーショートが完成。

Click



CL
Clear

P
Pink

N
Natural

CLEAR

PINK



VIVID YELLOW TWO-TONED TIPS

クセを生かしたボリュームヘアは
コントラストを効かせた2色でドラマティックに

重ためのフロントと長さのあるバックにイエローを効かせたシンプルな2色構成が柔らかなフォルムと好対照の強さをプラス。サイドはツーブロックでタイトに抑え、ナチュラルなウェーブを際立たせることでジェンダーレスな魅力が放たれる。



SPRING/SUMMER 2024

WOMEN'S FASHION TRENDS

FROM RUNWAYS

ストリートからクラシックの対岸へ、トレンドの波が打ち上げたもの

この数シーズンでトレンドのシルエットは、オーバーサイズからジャストフィットへとドラマティックに変化。
各都市で飛び交っている“クワイエットラグジュアリー”のキーワードもまだまだ拡散していきそうだ。
新しい動きとしては、定番的なアイテムやモチーフの取り入れ方に注目したい。



1 PERFECT POLOS

いつもは脇役のポロシャツやポロニットがキーアイテムとして活躍。シャツとレイヤードしたり、ビジュアのネックレスを重ねたりして着こなしのバリエーションを広げたMIU MIUが代表例。学校や仕事帰りにそのまま海に行くようなコーディネートが新鮮。

2 BURGUNDY

バーガンディやボルドーなどの深い赤を、春夏に取り入れる変化球に注目。シューズもバッグも含めて全身ワントーンでまとめるスタイリングが印象的。ほかにもカーキ、ネイビー、ブラウン、白、黒など、今季のカラーパレットは全体的に落ち着いている。

3 CARGO PANTS

THE ATTICOのローウエストでストリートワイズな攻めのデザインから、モダンに洗練されたSAINT LAURENTのキレイめシルエットまで、カーゴパンツのバリエーションが充実。サファリ、ミリタリー、迷彩などのトレンドスタイルを統括するアイテム。

4 FRINGE

今季らしさを語るのに欠かせないのが、揺れるフリンジ。PRADAはショートパンツの上にメタリック素材のフリンジをレイヤード。BOTTEGA VENETAはクラフツマンシップを感じさせるレザーのフリンジをプラス。いずれもスタイリングの主役になる存在感。

5 SHIRTS

白シャツをはじめとする定番アイテムに熱視線。一見シンプルでベーシックなデザインでも、手の込んだディテールや仕立て、素材の良さが際立つ。先シーズンから続くクワイエットラグジュアリーの気分を感じる、控えめながらも強いトレンド。

6 FLOWERS

今春夏のフラワーは甘さ控えめ。生命力をリスペクトするような立体造形や大柄プリントが多く目につく。コサージュのような造花でドレスを飾ったUNDERCOVERやPRADA、花々のプリントをサイケデリックなカラーで描いたBURBERRYなど。

SPRING/SUMMER 2024

MEN'S FASHION TRENDS

FROM RUNWAYS

ユニセックスでもジェンダーフリーでもない、その先に広がる選択肢

SDGsの流れから、ウィメンズとメンズがますますリンクするようになってきた。合同ショー形式のBURBERRYやFERRAGAMO。ショーは別々でも似たアイテムが目につくPRADA、LOEWE、VALENTINO……それぞれにメンズとウィメンズがある中から、自分の好きなサイジングや色の服を自由に選べる時代。もはやユニセックスやジェンダーフリーを謳う必要もないフェーズへ。



1 LEATHER

レザーアイテムがメンズ、ウィメンズともに豊富。パンツやスカートなどのボトムだけでなく、RICK OWENSのように全身レザーでまとめるシャープなコーディネートも。ブランドによってリアルレザー、ヴィーガンレザーの選択肢が広がっている。

2 COAT

春夏なのにコートという提案。なかでも目につくのが真面目な印象のステンカラー。スーツに合わせてスリーピースのようにワントーンで着たり、スーツの上から肩を落としてカジュアルに羽織ったり。春先はコートがコーディネイトのキモになりそう。

3 SHOW SKIN

これまではウィメンズのルックでしか見ることのなかったフェミニンなワンショルダーのトップ。タンクトップの範疇を超える大胆な露出、ビタビタのシルエットが、メンズモードにじわじわと浸透し始めている。もちろん女性が着てもいい。

4 JUMP SUIT

作業着見えるジャンプスーツがトレンドにイン。1920年代の飛行服にルーツを持つカジュアルなデザインのワークウェアでありながら、素材や仕立てによって洗練を極めているのが今春夏のアップデート。VALENTINOのまっさらな白が眩しい。

5 SHORT PANTS

ここ数シーズン続いているハーフパンツ人気。今シーズンはさらに短く、昔の小学生が穿いていたようなやんちゃなショート丈が増加。センタープレス入りのスーツ仕立てでハイソックスを合わせたり、サンダルを履いたりさまざまなアレンジが楽しい。

6 NATURE PRINTS

トロピカルな植物柄、アニマル、フラワーなどの大柄プリント。メリハリのあるカラーリングで、スタイルにブリッスとスパイスを効かせる役回りを担っているのは、ウィメンズのフラワーと同じ流れ。かわいいというより大胆でシャープなイメージ。

BEST HAIR FROM RUNWAYS

ロング、バングス、バズカット。すべてはハイメンテナンス感がカギ

ひとつのショーにロングヘアからバズカットまで出揃う時代。個性をリスペクトする流れからさまざまなスタイルが共存するなか、春夏らしさを決定づけるひとつの分かれ目となるのが、バングスの表現だ。前髪をつくるならパツンではなく柔らかに。つくらないならスリークに流してフェイスラインをすっきり見せるアレンジが多数。



LOUIS VUITTON

1

BLUNT BANGS

強い個性を引き出す重めのバングスだが、今シーズンは丸みのあるカットで、丁寧にブローしたような柔らかい前髪が旬。70年代のムードを感じる姫カットも、明るいカラーとふんわりした質感で軽やかに。



HERMÈS

2

SLICKED BACK

ジェルで撫でつけたようなスリークヘア。「ロックでハード」ではなく「クリーン」なムードで取り入れて、ボディコンシャススタイルをヘルシーにアップデート。トレンドのレザーアイテムとも相性◎。



FENDI

3

CENTER PART

分け目はセンターパートが席巻。トップをつややかに撫でつけてすっきりとまとめたり、あるいは無造作なダウンスタイルやエアリーなウェイビーなど多彩。ナチュラルなのにハイメンテナンス感が共通点。



ALTUZARRA

4

BUZZ CUT

多くのセレブたちが実践しているバズカットが継続人気。女性のエンパワーメントや解放の象徴としてのスタイルを超えて、Y2Kブームとも合流したバズカットは、カラーリングのバリエーションも豊富。



JASON WU

5

WET LOOK

ビーチで遊んで濡れたような、春夏ならではのウェットルック。ただし今季はソルティな無造作感やアンニュイなムードとは距離を置いて、面をつややかに整え、美しい毛流れを生かすのがポイント。



TORY BURCH

6

HEAD ACCESSORY

ここ数シーズン人気のヘッドアクセサリ。コスチュームジュエリーさながらのパレッタや、ギザギザコームのカチューシャなど、今季も充実。ビジュのネックレスや大ぶりのイヤリングなどに合わせて。

BEST MAKEUP FROM RUNWAYS

計算ずくのヴィヴィッドなアイ&リップ、眉の新しいバランス

ミニマルメイクが継続。そこに高発色のカラーを1色、ポイントで取り入れるのが2024年春夏を象徴するスタイル。一見、レス志向のようにも見えるが、肌もアイもリップも、そしてフェードアウトしている眉も含めて、実はすべてに細やかな計算と手入れが行き届いている。決して無造作ではなく、洗練を極めた新しいアウトプットに注目。



PRADA

1

PAINTED EYES

1色で大胆にペイントしたようなアイカラーは今シーズンも健在。オレンジやグリーンなど温かみのあるカラーを、落ち着いたトーンのスタイリングにアクセントで取り入れるバランス感覚が大事。

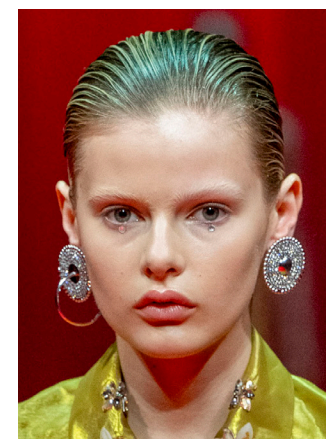


HELMUT LANG

2

GRAPHIC LINES

直線的でシャープなウィングのアイライン。従来のベーシックな黒が、今春夏は赤を始めとするヴィヴィッドなカラーに置き換わっている。ペイントアイ同様、アクセサリ感覚で楽しみたい。

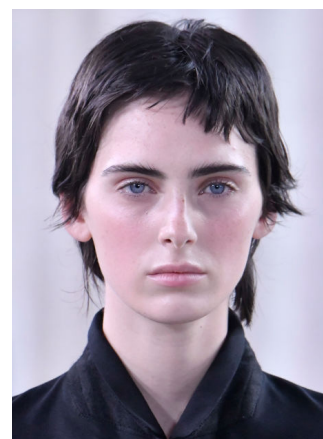


HUISHAN ZHANG

3

NO EYEBROWS

アイカラーのインパクトを引き立たせたい今季は、眉がないだけで古臭さが一気に吹き飛ぶ。90年代の太眉から00年代の細眉へ、ガラリとシフトしたY2Kのムードを引き継ぐキートrend。

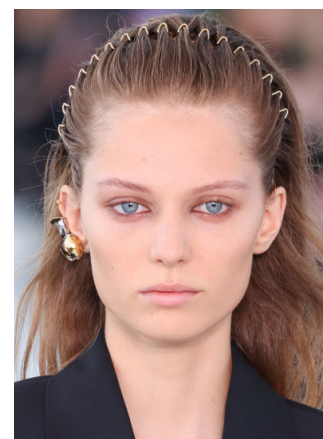


BALLY

4

MODERN MINIMALISM

クワイエットラグジュアリーを実践する上で欠かせない上質感。余計な色は潔く省き、滲み出るような血色チーク、ハイライトやシェーディングを駆使。いきいきと輝く質感と骨格をスタイリッシュに仕込んで。



GIVENCHY

5

SOFT GRUNGE

クラシック志向のトレンドを新たなフェーズへと導く、ピリツと辛口のグランジアイ。ダークなスモーキーカラーはひと休みして、肌馴染みのいい赤やピンクを混ぜたカラーで取り入れるとフレッシュな印象。



BURBERRY

6

BOLD LIPS

グリーン、ブルーなどのダークリップも、今春夏らしい辛口スパイスの選択肢。取り入れるなら堂々と、シャープなリップラインで際立たせるのがポイント。その他のパーツはシンプルに洗練をまとうて。



MUTED MAUVE MULLET

ベージュとピンクの穏やかなコントラストが醸す
儚くも自信を秘めたアティテュード

シャンパンベージュとパールピンクで染め上げた髪が、ラフなカール感と相まって、エフォートレスで抜け感のある仕上がり。前髪に入れたベージュ/ピンク/ベージュの3層から襟足の内側に入れたピンクへと滑らかにつながるように毛流れを生かしたカラーリングと、レイヤーの毛先を動かしたスタイリングがポイント。



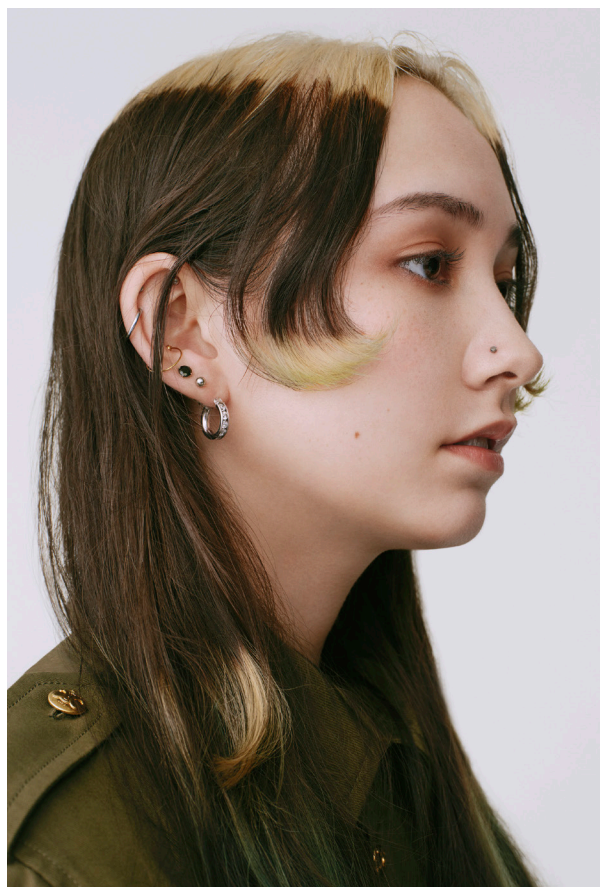


MULTI-STEP STRIPES

トップと3段ステップカットの毛先をハイライトし、
軽やかさと立体感を同時に叶える個性派ロング

地毛の長さや色を生かしつつ、トップ根もとと3段ステップカットの毛先のみブリーチし、ロングヘアに遊び心あふれるアクセントをプラス。髪全体のボリュームに合わせて顔まわりセクションの分量を調整し、毛先を軽やかに遊ばせて。ストレートアイロンで伸ばせばシャープな表情に。襟足毛先とチークラインに淡く入れたグリーンが立体感をさりげなく演出。

Click





CONTRASTED SPIKES

シャープに刈り上げたフォルムを
滑らかなカラーコントラストでモダンに魅せる

フロントからサイドにかけて入れた黒とグリーンは、刈り上げ部分がしっかり見えるくらいに立ち上げて
スタイリング。黒に若干のグリーンを入れて、サンドベージュとのコントラストが強くなりすぎないように
調整することで、モダンでフレッシュな印象に。





OCEANIC BLUE BLUNT

寒色×丸みのあるフォルムで叶える
クールロマンティックなハンサムショート

カラーはシアン×ネイビーの寒色系をセレクト。カットは耳上でバッサリと、サイドとバックは刈り上げツーブロックでシャープに。トップからかぶせるように丸みを持たせたフォルムとのコントラストがクールな印象を演出。根もとと毛先に入れたネイビーが丸みのある立体感を際立たせ、今シーズンのヘアトレンドと重なるフェミニニティを醸し出す。

Click





TOGETHER WITH BEAUTY CREATORS

<https://www.shiseido-professional.com/>



Official Instagram Account
@shiseidopro_official

▶▶▶ Click



Official Facebook Account
@Shiseido Professional Global

▶▶▶ Click



Official YouTube Account
@OfficialSHISEIDOProfessional

▶▶▶ Click



SHISEIDO PROFESSIONAL E-LEARNING
<https://elearning.shiseido-professional.com/>

▶▶▶ Click